



今日からあなたも、**投稿者。**



投稿希望者はこちら!



可児市ふるさと広報大使
塚本明里さん

全国初、市民行政一体型フェイスブック「かにすぎ」では、市民と市職員が投稿者となって市の魅力を発信しています。
可児を愛するあなた。投稿者としてイベントや子育て、おすすめスポットなど、可児の情報をみんなに発信しませんか。

かにすぎ かにすぎ 可児 検索

図書館だより

図書館本館 (広見) ☎5120
帷子分館 ☎8530
桜ヶ丘分館 ☎3473

開館時間	本館 火～金 午前10時～午後7時 土日祝 午前10時～午後5時
	帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時
休館日	本館・分館共通 毎週月曜日
	年末年始(12月28日(月)～1月4日(月))

12月11日(金)～12日(土)は、図書館本館の行事のため、学習室を使用できません。

展示のご案内(本館)

可児市人権啓発センター・人づくり課合同人権展(人づくり課、人権啓発センター)
期間 12月13日(日)まで
芥川賞作家「又吉直樹」の読書案内展(図書館)
期間 12月16日(水)～27日(日)
又吉直樹の著作「第2図書係補佐」(幻冬舎)を参考に、又吉直樹おすすめの本を紹介します。

図書館講座「本の修理実習」

期日 12月11日(金)
時間 午後1時～3時
場所 図書館本館
講師 田中稔さん(製本業者)
定員 10人(先着順)
図書館の本を修理していただけるボラン

ティアを募集中です。実習を受けて、修理ボランティアになってみませんか?

グリーンショップかもの出張販売

県立加茂農林高校との連携事業で、鉢花の販売を行います。
期日 1月9日(土)
時間 午前10時～正午
場所 図書館本館
内容 鉢花(シンビジウムなど)の販売、園芸関連図書の展示
販売者 加茂農林高等学校流通科学科

新年新春百人一首・かるた会

初心者・経験者に分かれてゲームをします。
期日 1月16日(土)
時間 午前9時30分～11時30分
場所 広見公民館ゆとりピア
参加費 無料
申込開始 1月5日(火)

新しくいった本

- 「氷鏡推理」 松岡圭祐 / 著 (講談社)
- 「いじめ」をめぐる物語 萩原浩ほか / 著 (朝日新聞出版)
- 「本屋って何?」 稲葉茂勝 / 文 秋田喜代美 / 監修(ミネルヴァ書房)
- 「テレビを発明した少年」 キャスリーン・クルル / 文 グレグ・カウチ / 絵 渋谷弘子 / 訳 (さ・え・ら書房)
- 「透視絵図鑑なかみのしくみ のりもの」 こどもくらぶ / 編さん (六耀社)

広報番組のお知らせ

ケーブルテレビ可児で

いきいきマイタウン

12/5(土)～11(金)

ようこそ!市長室へ

12/12(土)～18(金)

好きなのはカニダー

12/19(土)～25(金)

簡単!山ごはんレシピ
Kルートで行こう!

12/26(土)～31(木)

可児市この一年

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・21:00
土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00

FMららで

可児市役所からこんにちは

12/3(木) 11:20～

ようこそ!市長室へ

12/10(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

12/17(木) 11:20～

家屋の取り壊し、償却資産の申告

12/24(木) 11:20～

可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」

おはよう可児市役所 月～金曜日 8:00～

発見!可児の魅力 毎週土曜日 10:00～

もう一度確認を!災害時の情報収集

すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。そのほか、暮らしに役立つ市政情報も配信しています。

登録方法はコチラ



「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎0574 62 1548

防災無線で放送された内容を放送後に電話で確認することができます。

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

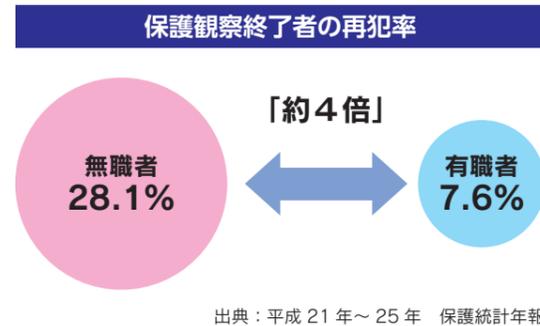
市民の皆さんも保護司さんの力に



ようこそ!
市長室へ



「保護司」という名称をご存じでしょうか。法務大臣から委嘱を受け、非行や罪を犯した人たちの生活や就労を手助けし、社会復帰を応援する方たちです。可児保護区(可児市と御嵩町)では、現在29の方が活動しております。
犯罪という背景で、保護司さんたちの活動が、特異性を帯びます。真面目に更生に向かっていると信じていた人が、再犯した事を知ったときの落胆。家族のもとに帰ることを望んでいる服役者を、涙ながらに拒む家族の切なさ。一方で、過去に保護観察となった少年が、立派に社会人となって報告に来てくれたときの喜び。彼女と思しき女性と楽しそうに語り合っている姿を見かけると、照れくさそうに微笑



笑んでくれた姿に、込み上げてくる安心感。落胆と喜びが交錯して、保護司の皆さんの働き甲斐となっています。

どんな人にもその人権を大切に、幸せになって欲しいという思いと、そのことが社会全体の安全と安心につながるという信念が、保護司さんたちの活動の源です。無職の人の再犯率が、有職者の4倍という現実もあります。そこで、立ち直りに協力する「協力雇用主」の開拓を重点的に進めた結果、当初4事業所だけだったのが、37事業所まで増えました。また、更生保護に携わる人たちとの情報交換の場「ひまわり相談室」の運営や、いじめ防止協力団体に登録いただくなど、行政、地域、学校などとの連携を積極的にとらえています。

長年の功績で法務大臣表彰を受賞された可児保護区保護司会会長の飯田好明さんは、「私個人ではなく、会の活動に対していただいたものと思っています。保護司の活動は、地味で目立たないものですが、保護観察対象者と心を通わせることもあり、やりがいを感じています。定期的に研修会を開き、保護観察に必要な知識や情報共有に努めています」と謙虚ながら熱意をもって語ってくれました。

保護司の皆さんの心の支えは、

可児市長 塚本明里

受け持った保護観察対象者の更生、社会復帰です。と同時に、雇用主としての企業の協力、保護司という活動に対する地域の理解が、とても大切な要素です。イベント会場などで保護司の皆さんの活動を見かけられましたら、市民の皆さんのお立ち寄りや励ましを、ぜひお願いします。そのことが、誰もが感じられる「住みこころ」につながるのです。



研修会の様子